

令和 7 年度 事業報告

第 1 事業の概要

令和 7 年度の事業運営に当たっては、農業経営の安定を図るため、行政や関係機関等の協力を得て、「収入保険制度」と「農業共済制度」の二つの農業保険制度について周知を図るとともに、N O S A I 役職員の総力を挙げて両制度の普及推進に取り組んだ。併せて、各事業の引受・損害評価の適正実施、効果的な損害防止事業の実施などに努めた。

その結果、農業共済事業の引受は、高齢化等による経営規模の縮小や廃業・収入保険事業への移行等の影響で減少し、全事業の総共済金額は 9,388 億 6,847 万円余で前年度対比 98.3%となった。一方、収入保険事業の引受は、組合目標 1,950 経営体達成に向け、全職員を挙げて戸別訪問を中心に加入推進に取り組んだが、1,851 経営体の加入に留まった。

農業共済事業の被害関係は、4 月及び 7 月のひょう害により、一部地域において、園芸施設への被害が発生した。水稻は、高温による影響が懸念されたが大きな被害とはならなかった。全事業の支払共済金総額は 9 億 3,567 万円余で前年度対比 93.1%となった。一方、収入保険の支払いは、令和 6 年加入において、猛暑の影響による収入減少等により、368 経営体に対し約 10 億 8,376 万円余、一経営体当たり 295 万円余の保険金が支払われた。

損害防止事業については、加入者へ要望調査等を実施してニーズの把握に努め、損害の未然防止に努めた。

業務収支については、事業運営に必要な経費である国庫事務費負担金が 4 億 7,464 万円余と前年より約 3,190 万円余の減額となり、収入計では 12 億 1,966 万円余となった。また、支出においては、業務の効率的運営に努めた。

事業収支については、家畜共済勘定・家畜診療所勘定に不足金が生じたが、果樹共済勘定・園芸施設共済勘定・任意共済勘定では剰余金が生じた。

第2 引受・損害評価の実績

(1) 農作物共済関係

(引受)

項目 区分		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)
		人	a	kg	円	円	円	円
水 稲	半相殺方式	7,814	603,087.5	23,175,384	4,023,798,891	5,379,640	788,068	6,167,708
	全相殺方式	178	46,928.5	1,839,011	315,327,390	644,727	244,944	889,671
	品質方式	236	78,226.5	－	511,881,221	2,283,082	△ 417,911	1,865,171
	小計	8,228	728,242.5	25,014,395	4,851,007,502	8,307,449	615,101	8,922,550
陸稲		0	0.0	0	0	0	0	0
麦	令和7年産							
	半相殺方式	119	85,691.2	2,491,530	198,642,574	589,980	543,966	1,133,946
	全相殺方式	34	35,475.0	1,366,850	161,734,280	674,344	609,227	1,283,571
	災害収入共済方式	247	222,479.1	－	1,243,926,606	10,104,037	4,777,830	14,881,867
	小計	400	343,645.3	3,858,380	1,604,303,460	11,368,361	5,931,023	17,299,384
	令和8年産							
	半相殺方式	113	83,479.8	2,424,023	196,578,582	597,532	552,729	1,150,261
	全相殺方式	34	35,339.9	1,388,739	153,806,207	666,692	603,303	1,269,995
	災害収入共済方式	234	217,442.0	－	1,149,691,257	9,463,257	4,485,146	13,948,403
	小計	381	336,261.7	3,812,762	1,500,076,046	10,727,481	5,641,178	16,368,659

※農作物共済麦の令和8年産については、決算時の引受内容を記入。

△：納入保険料

- 水稲

・前年対比

・引受概況

引受組合員数:94.3%・引受面積:99.6%

令和7年産の引受組合員数は8,228人で、前年より495人の減少、引受面積は7,282haで前年より33haの減少となった。

要因としては、小規模作付農家の未加入や農家の高齢化等による作付中止、また収入保険移行により引受組合員数、引受面積ともに減少となった。

引受方式別では、組合員数割合で半相殺方式が全体の94.9%、全相殺方式が2.2%、品質方式が2.9%となった。近年の気象災害による品質低下被害を受け、加入要件を満たす農家等に対し水稲品質方式への移行を推進した。また、青色申告を行っている農家等に対しては収入保険制度を含めた効果的な推進を行った。
- 麦

・前年対比

・引受概況

引受組合員数:98.5%・引受面積:99.2%

令和7年産の引受実組合員数は400人で、前年より6人の減少、引受面積は3,436haで前年より27haの減少となった。

要因としては、農家の高齢化等による作付中止、また収入保険移行により引受組合員数、引受面積ともに減少となった。

引受方式別では、組合員数割合で半相殺方式が全体の29.8%、全相殺方式が8.5%、災害収入共済方式が61.7%となった。収穫期の気象災害による品質低下被害の発生が多いことから、加入要件を満たす農家等に対し災害収入共済方式への移行を推進した。また、青色申告を行っている農家等に対しては収入保険制度を含めた効果的な推進を行った。

(被害)

項目 区分		被害組合員数	共済減収量	共済金	$\frac{\text{共済金}}{\text{共済金額}}$
水稲		人	kg	円	%
	半相殺方式	79	17,647	3,103,936	0.1
	全相殺方式	31	18,697	3,259,813	1.0
	品質方式	34	136,254	13,292,918	2.6
	小計	144	172,598	19,656,667	0.4
陸稲		0	0	0	0.0
麦	半相殺方式	10	20,029	1,243,105	0.6
	全相殺方式	4	4,780	573,620	0.4
	災害収入共済方式	74	300,619	21,271,900	1.7
	小計	88	325,428	23,088,625	1.4

- 水稻

・被害概況

移植期及び出穂期が高温及び少雨で推移した影響で干害が発生したほか、県下全域で白未熟粒や胴割粒等が発生し、減収及び品質低下となる被害が発生した。登熟期のまとまった降雨により県下全域で倒伏が発生した。また、県北部、西部、東部でイノシシやシカによる獣害が発生した。
群馬県公表の「令和7年産水稻の作況調査結果と当面の技術対策」(令和7年10月15日現在)によると、県内の作柄は中部、東部で「並～やや良」、北部、西部で「並」となった。
- 麦

・被害概況

4月下旬から5月中旬のまとまった降雨により、倒伏が発生したほか、降雨後の曇雨天により、土壌が乾かず根腐れとなる被害が発生した。出穂期以降の高温と降雨により、赤かび病が県下全域で平年よりやや多く発生したほか、5月以降の断続的な降雨により、畑麦ではなまぐさ黒穂病が発生した。
なお、群馬県公表の「令和7年産小麦の作況と麦類の当面の技術対策」(令和7年6月20日現在)によると、県内の小麦の平均作柄は「並～やや良」となった。

(支払)

区分	項目	支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金 共済金
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
		令和 年 月 日	円	円	円	円	円	円	%
水稻		7.12.23～ 8.3.23	19,656,667	0	8,922,550	10,734,117	0	0	100.0
陸稲		-	0	0	0	0	0	0	0.0
麦		7.9.18～ 7.12.23	23,088,625	0	17,299,384	5,789,241	0	0	100.0

(損害防止)

水稻・麦の病虫害防除等の損害防止事業に9,557,673円を使用し、各支所において関係機関と連携し、防除薬剤等を加入者に配付した。

(2)家畜共済関係

(引受)

○死亡廃用共済

区分 \ 項目	有資格頭数	事業計画頭数	引受頭数	引受頭数 事業計画頭数	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)
	頭	頭	頭	%	千円	円	円	円
搾乳牛	31,020	24,591	21,966	89.3	3,670,453	71,853,354	71,812,663	143,666,017
育成乳牛 子牛等		8,904	8,773 497	98.5	1,183,390	6,562,753	6,550,996	13,113,749
繁殖雌牛	66,020	3,856	3,502	90.8	1,035,989	2,950,607	2,940,191	5,890,798
育成肥育牛 子牛等		23,175	19,898 2,018	85.9	6,064,996	24,260,044	24,193,881	48,453,925
種豚	51,300	11,387	6,900	60.6	457,748	223,349	142,511	365,860
合計	148,340	71,913	61,039	84.9	12,412,576	105,850,107	105,640,242	211,490,349

・前年対比 頭数 94.2% 共済金額 108.9%

・引受概況 搾乳牛・育成乳牛は頭数・共済金額ともに前年度を下回った。繁殖雌牛については頭数、共済金額ともに増加した。育成肥育牛については頭数は減少したが評価額が高くなったことにより共済金額が増加した。種豚については、頭数・共済金額ともに減少した。

○疾病傷害共済

区分 \ 項目	有資格頭数	事業計画頭数	引受頭数	引受頭数 事業計画頭数	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)
	頭	頭	頭	%	千円	円	円	円
乳用牛	31,020	22,026	20,289	92.1	579,615	94,426,112	94,420,620	188,846,732
子牛等			310					
肉用牛	66,020	7,517	6,727	89.5	119,807	18,505,342	18,504,170	37,009,512
子牛等			450					
種豚	51,300	1,992	422	21.2	280	23,092	15,390	38,482
合計	148,340	31,535	27,438	87.0	699,702	112,954,546	112,940,180	225,894,726

・前年対比 頭数 96.1% 共済金額 98.5%

・引受概況 乳用牛は頭数・共済金額で前年度を下回った。肉用牛は頭数については減少したが共済金額は増加した。また種豚の共済金額は前年と同額であったが頭数は微減となった。

○特定包括肉豚共済

区分 \ 項目	有資格頭数	事業計画頭数	引受頭数	引受頭数 事業計画頭数	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)
	頭	頭	頭	%	千円	円	円	円
特定包括肉豚	544,700	68,525	45,050	65.7	609,381	248,268	158,716	406,984

- ・前年対比 頭数 91.1% 共済金額 96.8%
- ・引受概況 引受頭数・共済金額ともに減少した。

(事故)

○死亡廃用共済

区分 \ 項目	死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金
	頭	頭	頭	円
搾乳牛	835	284	1,119	146,239,257
育成乳牛	403	4	407	11,096,276
子牛等	327	0		
繁殖雌牛	22	6	28	6,378,355
育成肥育牛	778	18	796	32,817,200
子牛等	670	2		
種豚	1	0	1	53,400
合計	2,039	312	2,351	196,584,488

- ・事故概況 全体的に、頭数は減少傾向で、対前年度比94.1%であった。支払共済金については種豚を除き減少し、対前年度比88.9%であった。

○疾病傷害共済

区分 \ 項目	件数	支払共済金
	件	円
乳用牛	15,980	208,078,406
子牛等	1,188	
肉用牛	3,596	45,808,072
子牛等	2,269	
種豚	5	53,973
合計	19,581	253,940,451

- ・事故概況 件数では種豚を除いて全て減少した。支払共済金では全て減少し、対前年度比で件数91.6%、支払共済金95.2%であった。

○特定包括肉豚共済

区分	項目	死亡頭数	支払共済金
特定包括肉豚		頭 116	円 1,495,124

・事故概況 前年度は豚舎火災事故により頭数、支払共済金が増加したが、今年度は通常被害となった。対前年度比で頭数13.9%、支払共済金14.0%であった。

(損害防止)

実施種目		対象頭数又は回数	経費概算	摘要
特定損害防止		頭 580	円 2,078,600	牛
一般損害防止	予防衛生措置	123,482	5,592,430	牛・豚
	講習会、講話会	-	-	

・特定損害防止事業(国補助事業)については、診療所において周産期疾患を中心に、乳房炎、運動器病、繁殖障害を対象に実施した。
・一般損害防止事業については、予防衛生措置のための薬剤等を配付した。

(診療所)

診療所名	職員数	診療件数		雑収入	損害防止事業		防疫業務	摘要
		共済事故	事故外		特損	経費概算		
家畜診療所	人	件	件	件	頭	円	頭	
	獣医師 9	4,181	869	795	580	2,078,600	牛 841	
	事務職 2						豚 660	

・診療件数の内、事故外は未加入畜の診療であり、雑収入には人工授精・受精卵移植・繁殖検診等が含まれる。
・診療件数は共済事故、事故外ともに増加したが、雑収入は減少した。
・防疫業務について牛はアカバネ病、5種混合予防注射であり、豚で豚熱(CSF)予防注射である。

(3) 果樹共済関係

(引受)

年産	項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)
	区分								
令和7年産	りんご	半相殺方式	人 20	a 1,117.8	kg 268,403	円 96,630,000	円 1,809,844	円 △ 206,781	円 1,603,063
		全相殺方式	0	0.0	0	0	0	0	0
		小計	20	1,117.8	268,403	96,630,000	1,809,844	△ 206,781	1,603,063
	ぶどう		0	0.0	0	0	0	0	0
	なし	半相殺方式	11	393.5	98,599	35,510,000	1,024,623	△ 365,214	659,409
		全相殺方式	0	0.0	0	0	0	0	0
		小計	11	393.5	98,599	35,510,000	1,024,623	△ 365,214	659,409
	合計		31	1,511.3	367,002	132,140,000	2,834,467	△ 571,995	2,262,472

○りんご ・前年対比 引受組合員数:87.0%・引受面積:108.4%

・引受概況 廃園により3戸減少した。

○なし ・前年対比 引受組合員数:91.7%・引受面積:91.4%

・引受概況 収入保険移行により1戸減少した。

(被害)

項目		被害組合員数	共済減収量	共済金	共済金 共済金額
区分					
りんご	半相殺方式	人 3	kg 14,083	円 1,604,100	% 1.7
	全相殺方式	0	0	0	0.0
	小計	3	14,083	1,604,100	1.7
ぶどう		0	0	0	0.0
なし	半相殺方式	2	4,544	356,300	1.0
	全相殺方式	0	0	0	0.0
	小計	2	4,544	356,300	1.0
合計		5	18,627	1,960,400	1.5

○りんご ・被害概況 ・7月上旬以降の高温および降雨不足によりハダニ類が発生し、果実の肥大不良が生じ、減収となった。

・7月上旬以降、シカによる果実の食害が発生し、減収となった。

・9月上旬以降の降雨の継続により褐斑病が発生し、果実の肥大不良が生じ、減収となった。

○なし ・被害概況 ・6月中旬以降の高温および降雨不足により、果実の肥大不良および水浸状果肉障害が発生し、減収となった。

(支払)

区分 \ 項目		支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金 共済金
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
りんご	半相殺方式	令和 年 月 日 8.2.4	円 1,604,100	円 -	円 -	円 -	円 -	円 -	% 100.0
	全相殺方式	-	0	-	-	-	-	-	0.0
	小計	8.2.4	1,604,100	-	-	-	-	-	100.0
	ぶどう	-	0	-	-	-	-	-	0.0
なし	半相殺方式	8.2.4	356,300	-	-	-	-	-	100.0
	全相殺方式	-	0	-	-	-	-	-	0.0
	小計	8.2.4	356,300	-	-	-	-	-	100.0
	合計	8.2.4	1,960,400	0	1,960,400	0	0	0	100.0

(損害防止)

りんご、なしの病虫害防除を目的として、280,075円を使用し、防除薬剤等を加入者に配付する損害防止事業を行った。
また、果樹園地を対象に、1点の土壌診断(経費770円)を行った。

(参考:引受)

年産	区分 \ 項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)
令和8年産	りんご	半相殺方式	人 21	a 1,101.0	kg 252,746	円 91,020,000	円 1,729,538	円 △ 197,319	円 1,532,219
		全相殺方式	0	0.0	0	0	0	0	0
		小計	21	1,101.0	252,746	91,020,000	1,729,538	△ 197,319	1,532,219
		ぶどう	0	0.0	0	0	0	0	0
	なし	半相殺方式	9	337.0	85,497	31,680,000	888,099	△ 316,550	571,549
		全相殺方式	0	0.0	0	0	0	0	0
		小計	9	337.0	85,497	31,680,000	888,099	△ 316,550	571,549
		合計	30	1,438.0	338,243	122,700,000	2,617,637	△ 513,869	2,103,768

△:納入保険料

(4) 畑作物共済関係

(引受)

項目 区分		組合員数	引受面積(大豆) 引受箱数(蚕繭)	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)
大豆		人	a	kg	円	円		円
	半相殺方式	1	559.8	6,585	744,105	1,193		
	全相殺方式	0	0.0	0	0	0		
	小計	実 1	559.8	6,585	744,105	1,193		
蚕繭		人	箱	kg	円	円		
	春蚕繭	30	108.00	2,678	6,920,710	19,326		
	初秋蚕繭	12	55.20	1,377	3,511,350	4,175		
	晩秋蚕繭	27	105.24	2,458	6,244,950	28,363		
	小計	延 69 実 32	268.44	6,513	16,677,010	51,864		
合計					17,421,115	53,057	20,239	73,296

△:納入保険料

大豆

・前年対比
・引受概況

引受組合員数:33.3%・引受面積:33.6%
農家の高齢化等に伴う作付中止により組合員数・引受面積が減少した。

蚕繭

○春蚕繭
○初秋蚕繭
○晩秋蚕繭
○引受概況

・前年対比
・前年対比
・前年対比
引受組合員数83.3%・引受箱数79.8%
引受組合員数:70.6%・引受箱数62.4%
引受組合員数:77.1%・引受箱数:67.8%
全蚕繭とも高齢化等により減少傾向にある。

(被害)

区分 \ 項目		被害組合員数	共済減収量	共済金	$\frac{\text{共済金}}{\text{共済金額}}$
大豆	半相殺方式	人 1	kg 976	円 110,288	% 14.8
	全相殺方式	-	-	-	-
	小計	実 1	976	110,288	14.8
蚕繭	春蚕繭	2	79	223,490	3.2
	初秋蚕繭	1	226	576,300	16.4
	晩秋蚕繭	8	595	1,517,250	24.3
	小計	延 11 実 9	900	2,317,040	13.9
合計				2,427,328	13.9

大豆 ・被害概況 高温障害および虫害、獣害が発生し減収した。

蚕繭
○春蚕繭 ・被害概況 農薬生理病および生理病が発生し減収した。
○初秋蚕繭 ・被害概況 膿病が発生し減収した。
○晩秋蚕繭 ・被害概況 膿病、細菌病、農薬生理病および桑葉にその他気象上の原因による災害(高温等)が発生し減収した。

(支払)

区分 \ 項目		支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金 共済金
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
大豆		令和 年 月 日	円	円	円	円	円	円	%
	半相殺方式	8.3.9	110,288	-	-	-	-	-	100.0
	全相殺方式	-	0	-	-	-	-	-	0.0
	小計	8.3.9	110,288	-	-	-	-	-	100.0
蚕繭	春蚕繭	7.9.12	223,490	-	-	-	-	-	100.0
	初秋蚕繭	7.10.29	576,300	-	-	-	-	-	100.0
	晩秋蚕繭	7.12.24	1,517,250	-	-	-	-	-	100.0
	小計	7.9.12～ 7.12.24	2,317,040	-	-	-	-	-	100.0
合計		7.9.12～ 8.3.9	2,427,328	1,813,829	73,296	540,203	0	0	100.0

(損害防止)

○大豆 病虫害防除を目的として、9,270円を使用し、防除薬剤等を加入者に対し配付する損害防止事業を行った。

○蚕繭 病虫害防除を目的として、136,712円を使用し、防除薬剤等を加入者に対し配付する損害防止事業を行った。

(5)園芸施設共済関係

(引受)

項目 施設区分	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)
	人	棟	a	千円	千円	円	円	円
ガラスⅠ類	0	0	0.0	0	0	0	0	0
Ⅱ類	97	126	1,576.1	2,556,316	1,837,093	6,559,847	1,367,756	7,927,603
プラスチックハウスⅠ類	1	1	1.0	154	62	139	116	255
Ⅱ類	2,064	10,640	22,850.8	7,069,961	5,161,535	43,753,188	6,096,393	49,849,581
Ⅲ類	408	520	6,261.9	3,703,651	2,779,479	19,991,907	2,012,967	22,004,874
Ⅳ類甲	330	472	4,829.4	5,494,153	3,983,509	14,974,766	1,700,106	16,674,872
Ⅳ類乙	196	258	2,715.4	3,744,964	2,827,351	8,280,551	3,759,384	12,039,935
Ⅴ類	59	63	718.4	823,200	606,823	1,608,502	578,988	2,187,490
Ⅵ類	256	4,497	10,804.3	2,509,418	1,622,137	7,504,886	5,286,909	12,791,795
Ⅶ類	44	80	1,670.4	82,438	64,898	305,771	177,390	483,161
合計	3,455	16,657	51,427.7	25,984,255	18,882,887	102,979,557	20,980,009	123,959,566

※共済価額及び共済金額は四捨五入により合計値と一致しない。

△:納入保険料

- ・前年対比 引受組合員数:99.6%・引受棟数:100.5%・引受面積:100.3%
- ・引受概況 前年と比較して、クロスコンプライアンスや新規ご紹介キャンペーンなどにより引受棟数・引受面積が増加した。

(被害)

施設区分	項目	被害		損害の額	共済金						共済金 共済金額
	組合員数	棟数	特定 園芸施設		附帯施設	施設内 農作物	撤去費用	特定園芸施 設復旧費用	附帯施設 復旧費用	合計	
ガラスⅠ類	人 0	棟 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	% 0.0
Ⅱ類	11	11	2,156,614	1,539,485	65,827	0	0	0	0	1,605,312	0.1
プラスチックハウスⅠ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
Ⅱ類	154	379	32,971,221	23,545,476	0	157,387	0	0	0	23,702,863	0.5
Ⅲ類	36	42	15,117,385	9,808,325	307,538	1,488,569	0	0	0	11,604,432	0.4
Ⅳ類甲	20	24	5,446,382	1,441,802	2,091,482	195,166	0	0	501,972	4,230,422	0.1
Ⅳ類乙	14	21	3,939,090	1,094,470	332,362	1,300,144	0	64,678	64,583	2,856,237	0.1
Ⅴ類	1	1	175,910	0	0	140,728	0	0	0	140,728	0.0
Ⅵ類	9	19	1,612,893	923,707	0	0	0	0	0	923,707	0.1
Ⅶ類	3	3	222,975	178,379	0	0	0	0	0	178,379	0.3
合計	248	500	61,642,470	38,531,644	2,797,209	3,281,994	0	64,678	566,555	45,242,080	0.2

・被害概況 降ひょうにより中央及び東支所管内において被覆材・本体に被害が発生した。病虫害では、主に東支所管内においてキュウリの黄化えそ病等が発生した。

(支払)

実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金 共済金
	保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
円 45,242,080	円 2,463,533	円 42,778,547	円 0	円 0	円 0	% 100.0

※手持掛金充当額については、当年度の経過手持共済掛金及び前年度の未経過手持共済掛金から支出している。

(損害防止)

損害の未然防止と発生した被害の拡大を防ぐため、4,132,161円の損害防止事業費で粘着補虫シートやビニール補修用テープ等の損害防止用品を加入者に配付した。

(6) 建物共済関係

(引受)
農家建物

項目 区分	引受棟数	共済金額	共済掛金		1棟当たり 平均共済金額	保険料	保険手数料
			純共済掛金	賦課金			
	棟	千円	円	円	円	円	円
総合共済	12,725	145,231,750	220,698,018	99,841,362	11,413,104	97,139,242	35,237,102
収容農産物Aタイプ	-	-	-	-	-	-	-
収容農産物Bタイプ	-	-	-	-	-	-	-
火災共済	64,563	754,427,300	355,324,824	290,129,452	11,685,134	115,161,781	78,194,076
合計	77,288	899,659,050	576,022,842	389,970,814	11,640,346	212,301,023	113,431,178

・前年対比 引受棟数:97.3%・共済金額:98.1%
・引受概況 総合共済は、自然災害が多発していることで火災共済から切り替える加入者や新規の加入者があり、共済金額で前年対比103.1%と増加する一方で、火災共済は、同対比97.2%と減少している。

(事故)
農家建物

項目 区分	事故棟数	共済金額 (イ)	支払共済金(ロ)		保険金	被害率 (ロ)／(イ)
			火災等	風水害等		
	棟	千円	円	円	円	%
総合共済	224	3,320,200	43,178,252	31,619,037	22,439,105	2.3
収容農産物	-	-	-	-	-	-
火災共済	363	5,238,400	316,474,834	-	94,942,309	6.0
合計	587	8,558,600	359,653,086	31,619,037	117,381,414	4.6

(原因別事故発生状況)

農家建物

事故原因別		事故棟数	共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	保険金	被害率 (ロ)／(イ)
火災	電気配線等の漏電	棟 6	千円 91,900	円 85,756,239	円 25,726,870	% 93.3
	たき火の火	6	57,000	41,320,093	12,396,027	72.5
	その他の原因による火災	4	56,300	7,017,300	2,105,188	12.5
	ストーブ関係の火	3	69,300	25,768,914	7,730,672	37.2
	その他	17	186,700	115,603,830	34,681,140	61.9
	火災計	36	461,200	275,466,376	82,639,897	59.7
拡張担保	落雷	268	4,120,700	65,804,962	19,741,376	1.6
	物体の落下・飛来等	27	423,100	2,037,585	611,266	0.5
	盗難によるき損・汚損	92	1,201,200	8,851,436	2,655,403	0.7
	車両の飛び込み等	22	279,700	3,003,269	900,974	1.1
	その他	30	404,000	4,489,458	1,346,832	1.1
	拡張担保計	439	6,428,700	84,186,710	25,255,851	1.3
自然災害		112	1,668,700	31,619,037	9,485,666	1.9
収容農産物		-	-	-	-	-
合計		587	8,558,600	391,272,123	117,381,414	4.6

・被害概況 支払共済金は、前年対比で火災が144.1%、拡張担保が84.8%、自然災害が130.1%で、全体で124.3%と増加した。

(7)農業経営収入保険

(引受・支払状況)

全国目標10万 経営体に対する 組合目標	令和7年度目標戸数	令和7年度加入戸数			令和7年度支払保険金(令和6年加入分)		
		個人	法人	計	加入戸数	支払戸数	支払額
戸 2,400	戸 1,950	戸 1,709	戸 142	戸 1,851	戸 1,804	戸 368	円 1,083,763,128

(引受)

全国10万経営体目標対比 77.1%
令和7年度目標対比 94.9%

(支払関係)

夏期の猛暑による被害や病害等による被害が発生。
このほか、けがや病気による収入減少が要因。

第3 業務の概要

1 重要な処理事項

(1) 理事会

年 月 日	処理事項
7 6 6	(議事) 1. 第16回通常総代会提出議案について(令和6年度決算監査報告) 2. 建物共済事務取扱要領、約款、引受審査要領及び共済掛金等加算額の一部改正について 3. 令和7年度法定・特別積立金等運用方針案・限度額案について 4. 各種引当金等見直し計画案について 5. 令和7年度以降の園芸施設共済加入率目標計画について
8 29	(議事) 1. 諸規則等の一部改正案について 2. 役職員等表彰者案について
12 5	(議事) 1. 諸規則等の一部改正案について
8 2 16	(議事) 1. 臨時総代会提出議案について 2. 諸規則等の一部改正案について 3. 市町村長理事候補者1名の指名について 4. 参事の選任案について 5. 令和8年度コンプライアンス・プログラム案について 6. 令和9年度職員採用選考基準案について

(2) 監事会・監査

年 月 日	処理事項
7 5 30	監事会 (議題) 1. 令和7年度監査の基本方針(案)について 2. 令和6年度定時(決算)監査の実施計画(案)について 決算監査
11 28	(議題) 1. 令和6年度一般管理・業務全般・会計決算監査実施 監事会 (議題) 1. 令和7年度定時(中間)監査について 中間監査 (議題) 1. 令和7年度一般管理・業務全般・会計中間監査実施

(3) 会計監査人による監査及び顧問税理士による税務指導

年 月 日	処理事項
7 4 28	外部監査(松井・田中公認会計士)
5 26	外部監査(松井・田中公認会計士)
27	外部監査(松井・田中公認会計士)
29	税務状況調査(横田顧問税理士)
10 21	外部監査(松井・田中公認会計士)

(4) 業務関係
(総務)

年	月	日	処理事項
7	4	8	新入職員研修会（ビジネスマナー等：アデコ）
		9	支所長等会議
		10	新規採用職員等業務研修会（農業保険事業の概要、システム）
		14	新規採用職員等業務研修会（収入保険）
		15	新規採用職員等業務研修会（農作物共済、畑作物共済）
		16	新規採用職員等業務研修会（果樹共済、園芸施設共済）
		17	新規採用職員等業務研修会（建物共済、家畜共済）
		18	新規採用職員等業務研修会（エクセル）
		24	第1回広報委員会議
5	16		第1回法定・特別積立金等運用管理委員会
6	10		支所長等会議
	10		農業共済情報セキュリティ推進委員会
	12		群馬県NOSA I女性の会 代表者会議
7	10		支所長等会議
	17		群馬県NOSA I女性の会 総会及び研修会並びに即売会
	30	～ 31	県常例検査
	31		広報紙「NOSA I ぐんま」44号発行
8	8		支所長等会議
	9		第2回法定・特別積立金等運用管理委員会
9	10		支所長等会議
	12		第2回広報委員会議、広報技術研修会
10	10		支所長等会議
11	11		支所長等会議
	11		コンプライアンス改善委員会
	19		第3回法定・特別積立金等運用管理委員会
12	9		支所長等会議
8	1	5	広報紙「NOSA I ぐんま」45号発行
		9	支所長等会議
	20	～ 21	コンプライアンス研修会
	26	～ 27	階層別研修会（主任向けスキルアップ研修）
	2	5	第4回法定・特別積立金等運用管理委員会
		5	コンプライアンス改善委員会
		9	支所長等会議
	3	6	第3回広報委員会議
	3	10	支所長等会議

(農作物)

年	月	日	処理事項
7	4	22	農作物共済担当者会議
		24	経営所得安定対策及び作物作付・水稲共済一体化説明会
	5	20	東地区麦見回り調査
		21	西地区麦見回り調査
		22	中央地区麦見回り調査
8	21		農作物共済担当者会議
9	2		東地区水稲検見競技会
		8	損害評価会農作物共済麦部会
		9	東地区水稲見回り調査
		9	北地区水稲検見競技会
		11	北地区水稲見回り調査
7	9	12	中央・西地区水稲見回り調査
		17	中央地区水稲検見競技会
		25	西地区水稲検見競技会
12	15		損害評価会農作物共済水稲部会

(家畜)

年 月 日	処理事項
7 12 17	家畜共済担当国会議
24	損害評価会家畜共済部会
8 2 1	継続加入推進・手続き開始（支所において随時）

(畑作物)

年 月 日	処理事項
7 8 26	損害評価会畑作物共済蚕繭部会（春蚕繭）
10 9	損害評価会畑作物共済蚕繭部会（初秋蚕繭）
12 12	損害評価会畑作物共済蚕繭部会（晩秋蚕繭）
8 2 17	損害評価会畑作物共済大豆部会
3 19	畑作物共済担当国会議

(果樹)

年 月 日	処理事項
7 7 18	なし着果数調査等研修会
8 28	りんご着果数調査等研修会
8 1 26	損害評価会果樹共済部会
30	果樹共済担当国会議

(園芸施設)

年 月 日	処理事項
7 5 7 ～ 29	園芸施設共済担当国会議
6 27	N O S A I とちぎ視察研修会
7 22 ～ 8 20	損害評価現地研修会
8 1 28 ～ 29	鉄骨系ハウス現地研修会

(建物)

年 月 日	処理事項
7 7 14	落雷損害評価研修会 西支所
14	落雷損害評価研修会 東支所
14 ～ 15	" 中央支所
14 ～ 15	" 北支所
16	建物共済担当国会議（第1回）
10 16	建物共済担当国会議（第2回）
16	建物共済損害評価研修会（リモート）
8 1 30	建物共済担当国会議（第3回）

(監査)

年 月 日	処理事項
7 8 12 ～ 9 30	第1回内部検査 4支所・本所5課・家畜診療所・監査室（計11部署）
8 1 28 ～ 3 31	第2回内部検査 4支所・本所5課・家畜診療所・監査室（計11部署）

(収入保険)

年 月 日	処理事項
7 6 20	収入保険担当者打合せ
8 22	収入保険担当国会議
8 1 16	収入保険担当者打合せ
2 24	収入保険担当国会議